



サイバーセキュリティ対策通信

大阪府警察本部サイバーセキュリティ対策課

ランサムウェアに感染！ どうする？

脆弱性のあるVPN機器等から感染！！

感染例

機器のアップデートが行われておらず、脆弱性が残ったままのため、侵入される原因に！

同じネットワーク内に保存されているバックアップデータも感染被害に！



侵入



社内ネットワークを通じて感染拡大

業務用パソコン

データを暗号化

業務用パソコン

データを暗号化

データを暗号化

バックアップ用データサーバ



VPN等のネットワーク機器は常に最新の状態を保ちましょう！
バックアップデータはネットワークから切り離して保管を！

データを暗号化されたら？

➡ 感染端末をネットワークから隔離

➡ 至急セキュリティ担当者に報告

➡ 速やかに警察に通報・相談

復号に必要な情報が残っている場合があるので電源は切らない！

有事に備えて予め担当者を決め、連絡体制を確立しておく！

被害の拡大を防ぐためにも、被害を隠して潜在化させない！

暗号化されたデータが復元できることも！？

一部のランサムウェアについては、復号ツールが「No More Ransom(※)」のウェブサイト公開されており、暗号化されたデータを復元できる場合があります。

<https://www.nomoreransom.org/ja/index.html>



※ 「No More Ransom」は、ランサムウェアの被害低減を目指す国際的なプロジェクトです。

その他サイバー犯罪対策に関する事は大阪府警ホームページをご確認ください。

※ 企業・組織に向けたサイバーセキュリティ講演も実施中！



警察庁
National Police Agency